

「古写真、絵葉書にみる 陸軍航空の黎明」

陸軍航空の黎明期、フランス航空教育団の来日（大正7年（1919）1月から大正8年（1920）4月にかけてフランスの指導員が日本陸軍に航空技術を指導）に伴い、下志津原（現在の千葉県四街道市）には偵察観測班が置かれ、日々訓練が行われていました。それより前になりますが、明治43年（1910）12月には東京の代々木で徳川好敏大尉と日野熊蔵大尉が日本初の有人飛行を懸けて競っておりました。その時に徳川大尉が搭乗したのがフランスのアンリ・ファルマンが開発したアンリ・ファルマン機です。下志津で偵察観測班が使用したのは、アンリ・ファルマンの弟モーリスが開発したモーリス・ファルマン機を国産化した飛行機でした。エンジンは100馬力、それでも当時としては高性能でした。古写真や絵葉書から、フランス航空教育団当時の訓練の様子、拠点となった場所、後に軍の学校として組織的な教育が行われるに至った経緯などを見て行きます。



（行發店書瀬築） 況賞評講校将行飛 校學測観中空時臨（原津志下縣葉千於）

<絵葉書になったフランス航空教育団 偵察観測班の演習風景>



<アンリファルマン機>



<モーリスファルマン機>

講師：森 伸之（軍事史学会会員）

日時：2021年 1月31日（日）13時～15時頃まで（12時30分開場）

場所：アミュゼ柏 会議室C

柏市柏6丁目2-22 ⇒ アクセス：柏駅東口より徒歩7分

費用：300円（資料代など）

その他：駐車場は隣接してありますが、有料です。

問い合わせ先 メール：info@matsugasaki.jo.net 電話：090-3579-5185（森）平日は18時以降にお願いします

※参加申し込みは不要です。歴史や地域の成り立ちに興味のある方、ぜひお誘いあわせの上ご参加ください。会員募集中



主催：手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

(URL: [http:// www.matsugasaki.jo.net/](http://www.matsugasaki.jo.net/))